

旧赤星鉄馬邸オープンガーデン

オープンガーデン開催概要

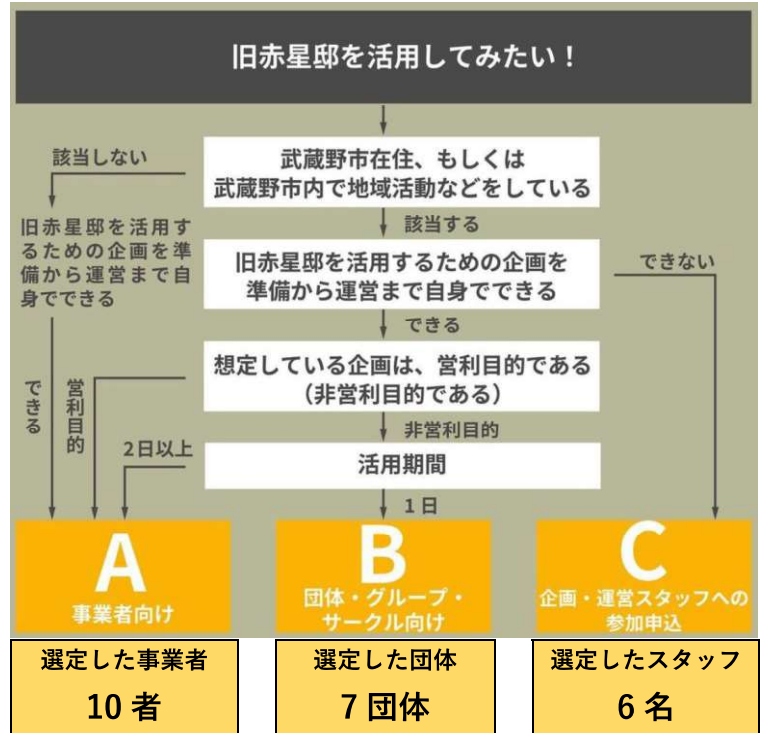
●開催までの経緯

武蔵野市では、令和5年度に旧赤星鉄馬邸（以下、旧赤星邸）と庭園を一体的に活用していくことを目指し、市民公募により24名の市民スタッフを公募・選定した。昨年度は、市民スタッフを総称して「ニワボシプロジェクト」として発足し、市民が主体となって11月と2月の2回実施した。昨年度の成果や課題を踏まえ、令和6年度は多様な主体が旧赤星邸に携わることができるように、事業者や市民グループ等の参画が可能な枠組みとし、平日を含む1週間の期間で利活用実験を実施することとした。

オープンガーデンの実施にあたっては、令和6年6月に「旧赤星鉄馬邸実験的活用ガイドライン」及び公募資料（A事業者募集、B団体・グループ・サークル募集、C企画・運営スタッフ募集）を公開し、旧赤星邸での利活用社会実験の企画者を公募した。公募により武蔵野市在住の企画・運営スタッフ6名、武蔵野市で活動する市民団体・グループおよび旧赤星邸に関心がある市内外の事業者の計17者（事業者10者、団体・グループ・サークル7団体）の応募があった。

事業者及び団体・グループ・サークルは、提案があった事業内容を基に、市と協議・精査の上で実施場所や日程を決定した。企画・運営スタッフは、7月～10月に亘り、計3回の企画会議を実施した。企画会議では、事業者及び団体・グループ・サークルの提案状況を考慮し、自ら実施できる5つの企画を立案し、オープンガーデンに向けて検討・実現した。

▼各公募のフロー



▼オープンガーデン開催に至る経緯（企画・運営スタッフ）

第1回（キックオフ）



現地を確認し、市民ワークショップの意見を踏まえて、意見だし。オープンガーデンの企画内容を検討。

第2回（企画立案）



第1回企画会議で意見が多かった企画を題材に実施にむけた検討を開始。

第3回（ブラッシュアップ）



5つの企画の詳細を検討。準備物の確認等の最終確認を実施。また、当日の運営計画も共有。

▼オープンガーデン開催に至る経緯（事業者及び団体・グループ・サークル）

1次締切後調整

書類審査後、適宜現場確認・打合せを行い、提案内容について提案団体と調整。

全体調整

提案内容の調整後、スケジュールと実施場所を仮決めし、提案団体と調整。

2次締切後調整・告知

2次締切の提案調整を行い、スケジュールを確定。オープンガーデンの概要を告知。

最終調整

貸出備品や搬出入車両等の調整を行い、当日の運営計画を共有し、最終調整。

オープンガーデン結果報告（12月集計時点速報）

●旧赤星鉄馬邸オープンガーデンの開催概要

当利活用社会実験の名称を「旧赤星鉄馬邸オープンガーデン」として告知・周知した。令和5年度は秋と冬に1日限定で計2回実施したが、令和6年度は1週間の実施期間を設け、平日休日の活用を検証した。当日は、庭園・建物を開放し、老若男女さまざまな方が来場した。

▼オープンガーデン開催概要

日時	令和6年10月24日（木）～10月30日（水） 10時～16時 ※木曜日～日曜日は夜間プログラム有
調査	アンケート調査（①来場者対象、②近隣住民対象、③出店者対象）／滞留調査／音環境調査

▼実施企画概要

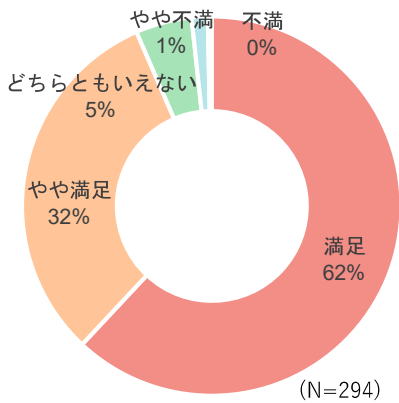
	10月日程							種 類				
	24日 （木）	25日 （金）	26日 （土）	27日 （日）	28日 （月）	29日 （火）	30日 （水）	飲食	物販	体験	音楽	展示 アート
書籍移動販売（Yummybooks）	●		●	●					●			
WAZA WAZA MARKET 2024（果実店 canvas）	●	●						●			●	●
テントでシールアート※市民スタッフ企画	●	●	●	●	●	●	●			●		●
コワーキングスペースでソト活！	●	●			●	●	●			●		
The Sound Heritage of Notre-Dame de Namur ノートルダム修道会の音遺産 ～シターと歌う聖母への祈り～（武蔵野啓明会）	●										●	
オリジナル合唱曲ミニコンサート （KI+chorus）	●										●	
衣服は感情（Mergen）	●	●	●	●	●	●	●					●
野菜の春巻きとドリンク（惣菜スタンド Soil）		●	●					●				
絵本販売とおはなし会・邸宅バグワークショップ（NPO 法人ぐーぐーらいぶ）		●	●						●	●		
エチオピアの野生の珈琲（BrightKitchens'）			●	●				●				
ほっこりカレンダー作り※市民スタッフ企画			●							●		
木の実のワークショップ（木の实サークルアン）			●							●		
センサリーボトル作り（おさんぽリトミック）			●							●		
読書会『置かれた場所で咲きなさい』Sr. 渡辺和子のお言葉より （ノートルダム清心女子大学同窓会東京支部）			●							●		
旧赤星邸写真館 （写真館研究所 ハレノヒ）			●	●						●		
秋星プロジェクト （Fumie Ito Matters & Geoff Matters）			●	●								●
山をなす（山ト波）				●				●	●		●	●
武蔵野の野草販売				●					●			
球根ワークショップ みんなでチューリップを植えて春を待ちましょう！※市民スタッフ企画				●						●		
旧赤星鉄馬邸7ふしぎ発見ツアー（建築★たんでい団）				●						●		
旧赤星邸フリーライブ※市民スタッフ企画				●							●	
本町コーラスはなみずき※市民スタッフ企画						●					●	
自家焙煎コーヒー豆（コタ珈琲）							●	●				

●来場者による評価

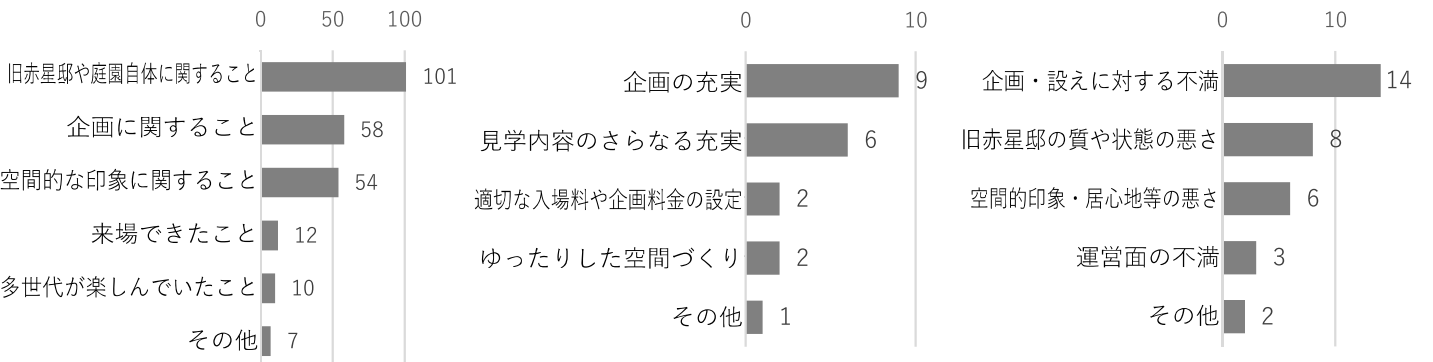
(全体満足度)

オープンガーデン全体の満足度については、回答者の 94%が「満足」または「やや満足」と回答した。その理由（自由回答）を確認し、カテゴリー別に分類し、集計した。評価できる理由としては、「旧赤星邸や庭園に関すること」が 101 件で最も多く、次いで「企画に関すること」が 58 件、「空間的な印象に関すること」が 54 件であった。

一方で、回答者の 5%が「どちらともいえない」、1%が「不満」または「やや不満」と回答した。その理由としては、日によって企画にばらつきがあったことから、「企画の充実（9 件）」「見学内容のさらなる充実（6 件）」に関する要望や「企画・設えに対する不満（14 件）」「旧赤星邸の質や状態の悪さ（8 件）」について指摘があった。



▲満足度評価



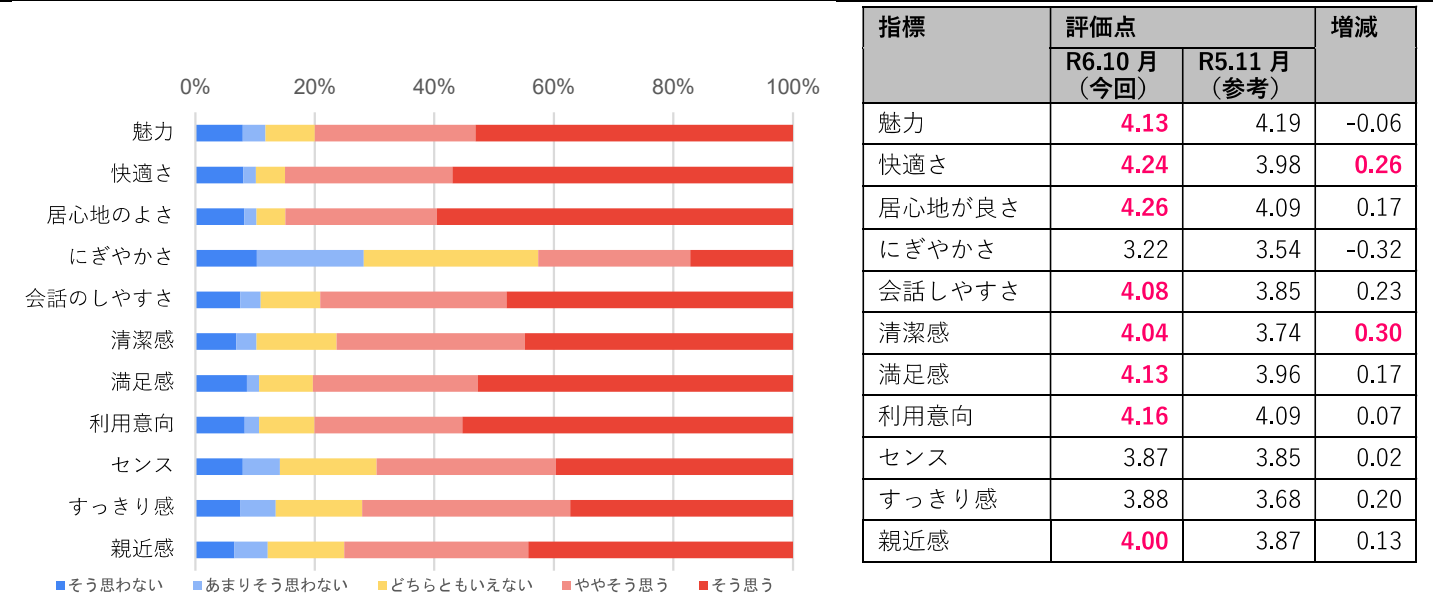
▲満足度評価の理由（評価できる理由） ▲満足度評価の理由（要望） ▲満足度評価の理由（指摘となる理由）

(庭園の空間的な評価)

オープンガーデン時の庭園の空間的な評価について、11 項目を 5 段階で評価した。「魅力」「快適さ」「居心地が良さ」「会話のしやすさ」「清潔感」「満足感」「利用意向」「親近感」について、4.0 以上の評価点が確認できた。一方で、最も低い評価点としては、「にぎやかさ」が 3.22 であり、静かな印象を残したまま魅力、居心地のよさ等を感じる空間であった。また、前回と比べて平日開催があったため、より平常時の傾向に近い空間であったと考える。

昨年度の同時期に開催した社会実験の空間的評価と比較すると、全体で評点増加が見られた。特に「快適さ」「清潔感」が増加していることが確認できた。空間的な評価が向上した要因としては、滞留アイテムを前回と比較して増加したことと推察している。

▼空間的評価（来場者対象アンケート調査による 5 段階評価）



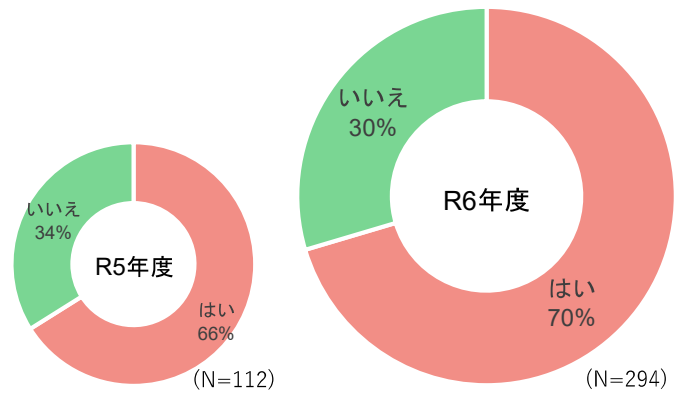
※評価点：5 段階評価を得点化（段階ごとで 1 点～5 点に配点）し、有効回答数で除した値

●来場者の普段の赤星邸の印象

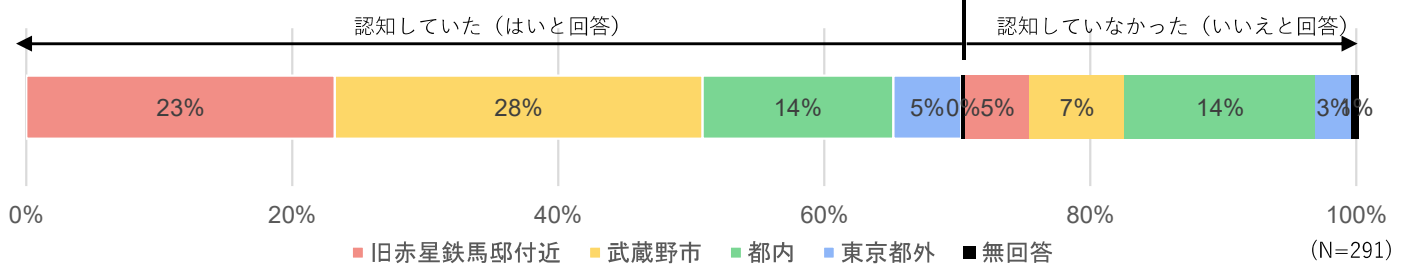
(旧赤星鉄馬邸の認知状況)

来場者の旧赤星邸の認知状況については、回答者の70%が「認知している（はい）」と回答した。令和5年度に実施した社会実験時と比べ、4ポイント上昇した。

来場者の居住地別に確認すると、「認知している（はい）」と回答した方のうち市内に居住している方（「武蔵野市」「旧赤星鉄馬邸付近」）に居住していると回答した方は、全体の51%と半数を占めた。



▲来場者の旧赤星邸の認知状況



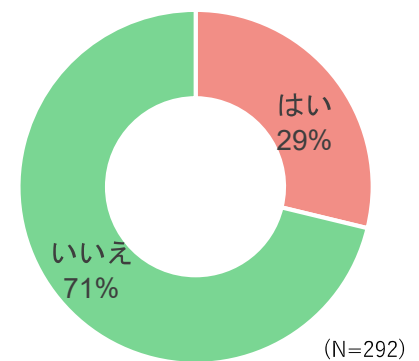
●その他来場者の属性

今回、来場した方の71%は、旧赤星邸に来たことがない人であった。

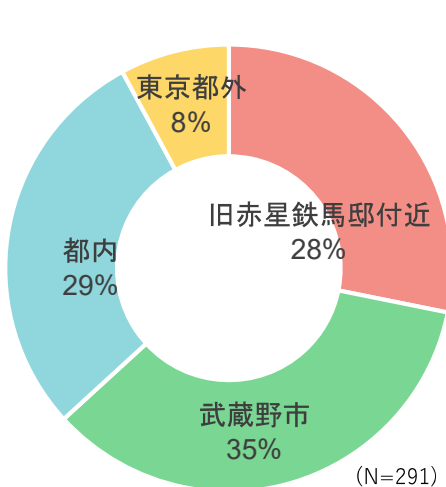
来場者の居住地は、武蔵野市内が63%（近隣28%、近隣外の市内35%）であった。都内（市外）からの来場者も29%あった。

来場者の移動手段は、「徒歩」が41%と、近い距離からの来訪者が多かった。「自転車」による来場が26%であり、27日（日）には北側に確保した駐輪場が満車となり、南側門付近に急遽駐輪場を設けた。

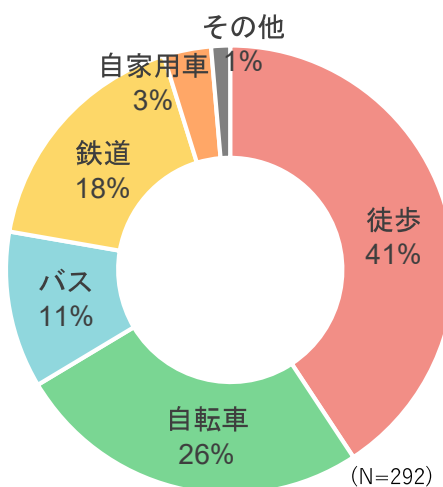
来場グループは、「一人で」が31%と最も多く、次いで「家族（子ども含む）」が28%と多かった。



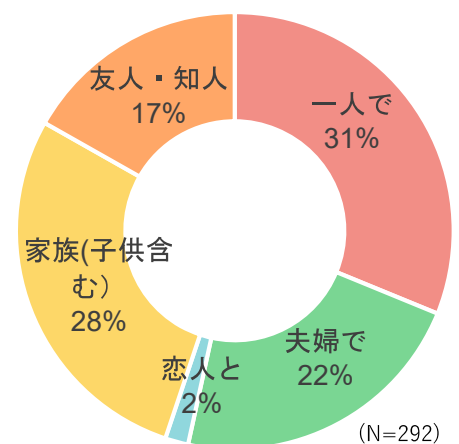
▲旧赤星鉄馬邸の過去来訪の有無



▲居住地



▲主要な移動手段

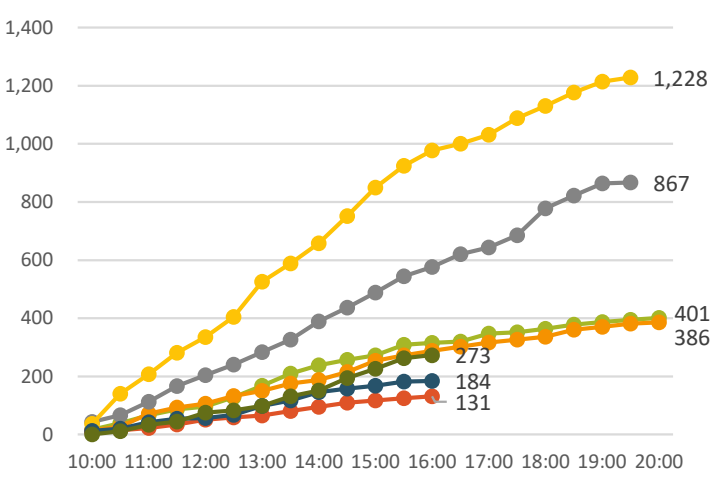


▲来場グループ

●建物・庭園内の滞留状況の推移

(オープンガーデンの累積入場者数)

オープンガーデンの来場者数については、日曜日に 1,228 人の入場者数であり、最も多い来場があった。最も少ない入場者数は 131 人で月曜日であった。平日に比べて休日の来場者数は、2～3 倍程度の入場者数が確認できた。また、来場者の 7～8 割は北門からの入場であったことも確認した。



	天候	地点別入場者割合（16 時時点）
24日（木）	晴れのち曇り	北門：85% 南門：15%
25日（金）	曇り	北門：88% 南門：12%
26日（土）	曇り	北門：81% 南門：19%
27日（日）	曇り時々雨	北門：76% 南門：24%
28日（月）	曇り	北門：73% 南門：27%
29日（火）	曇りのち雨	北門：87% 南門：13%
30日（水）	曇りのち晴れ	北門：83% 南門：17%

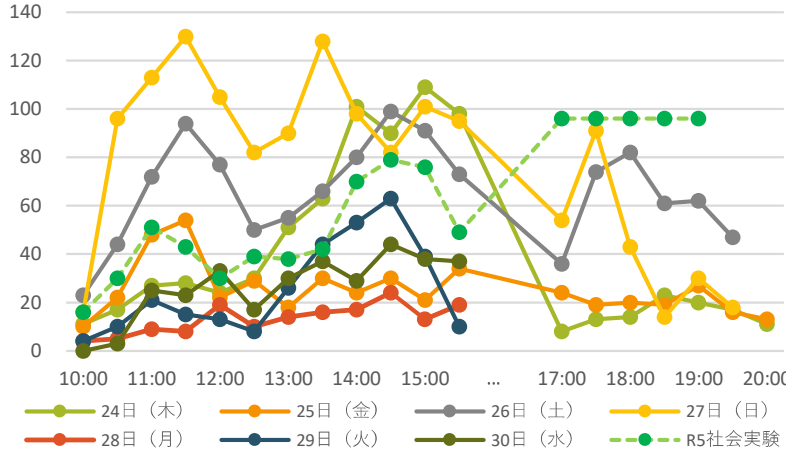
▲オープンガーデンの入場者数推移及び地点別の入場者割合

(オープンガーデン時の建物・庭園内の全体滞留人口)

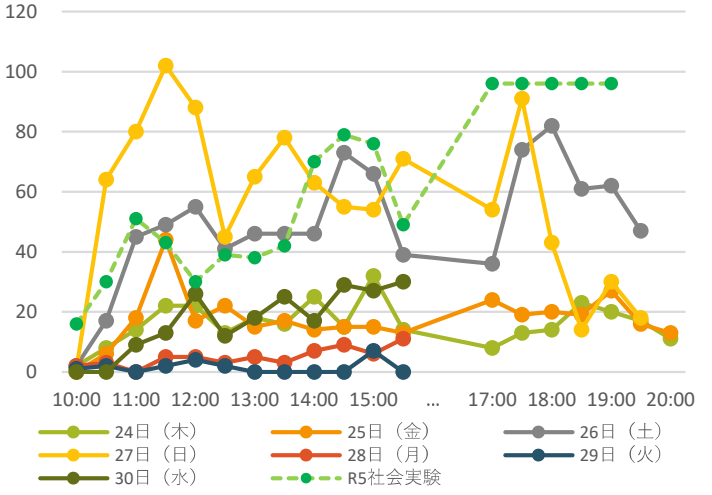
オープンガーデン時の建物・庭園内の全体滞留人口は、最大で約 130 人、平均 40 人程度の滞留があった。

庭園内の滞留人数を確認すると、平日で庭園に出店がない場合には約 10 人未満、出店がある場合には 10～30 人の間で推移した。休日は 40～80 人の間で推移していた。休日の滞留人数は、令和 5 年に実施した社会実験（庭園のみで開催）と比較すると、同程度の推移となった。

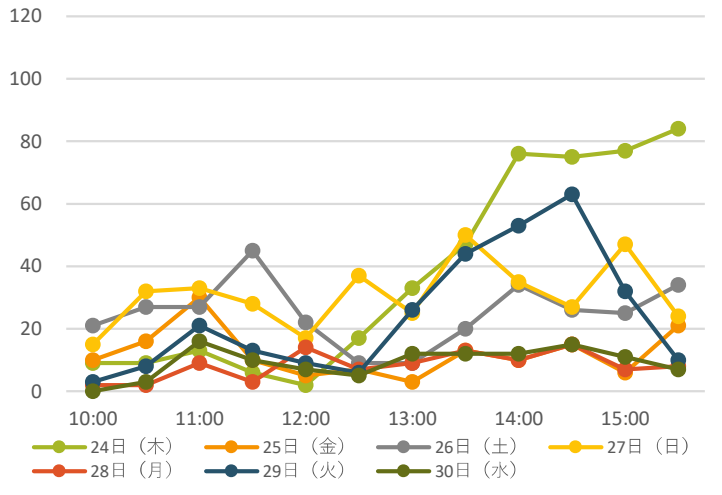
建物内の滞留人数については、0～30 人の間で推移した。居間、旧礼拝棟聖堂で会合型の企画がある時間帯については、突出して滞留数が多くなる傾向にあることを確認した。



▲庭園・建物の滞留人数（各日程）



▲庭園の滞留人数（各日程）



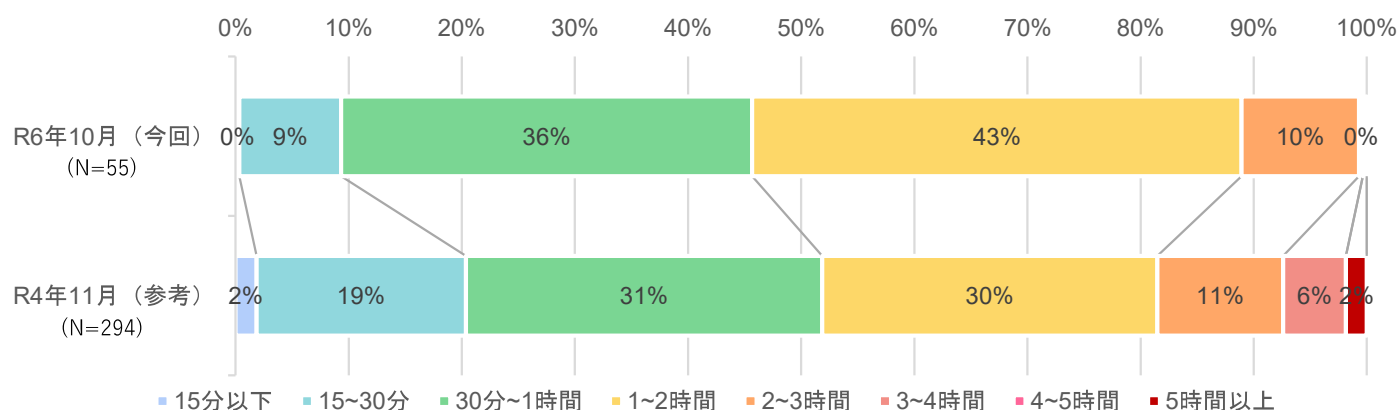
▲建物の滞留人数（各日程）

● 滞留時間の状況

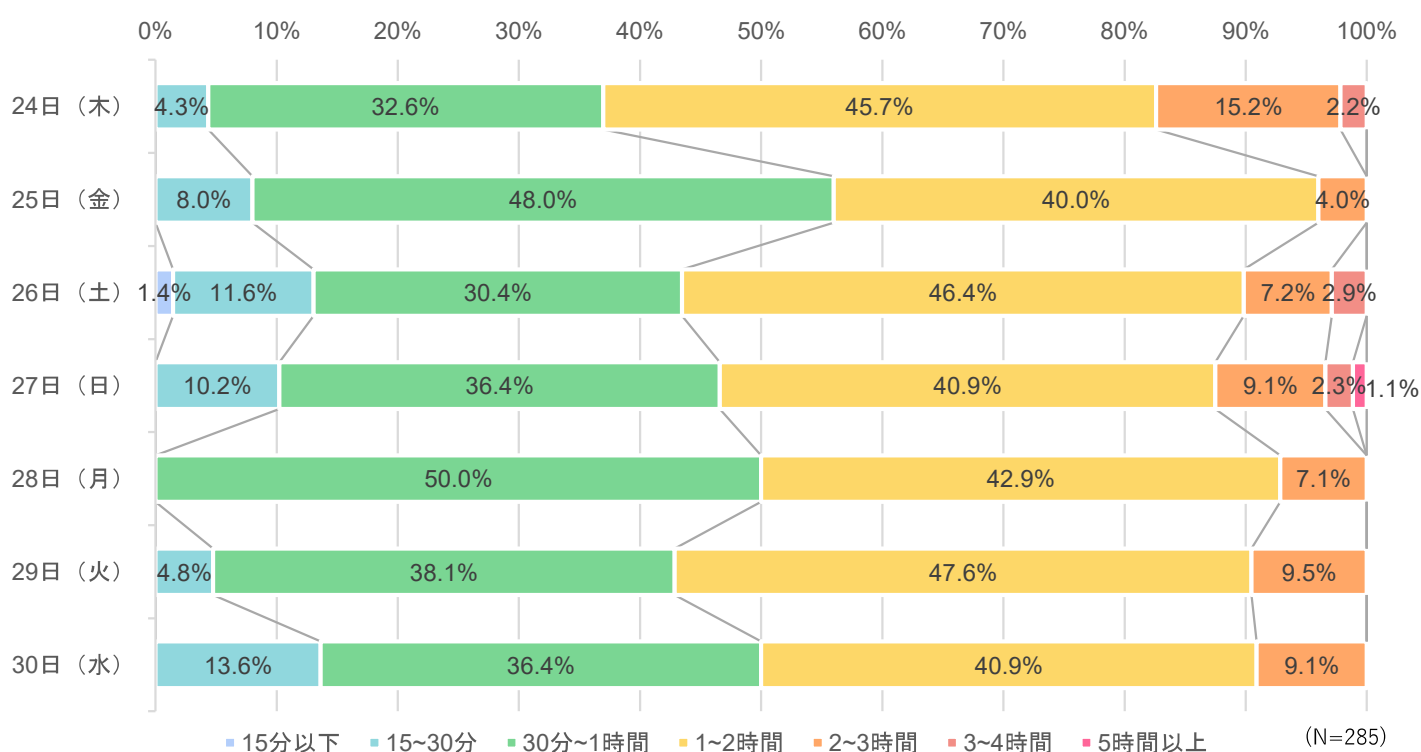
オープンガーデンの滞留時間は、「1～2時間」が43%と最も多く、次いで「30分～1時間」が36%と多かった。
令和5年度11月社会実験と比較すると30分～2時間程度の滞在時間の増加が見られた。

日程別でみると、28日、29日は庭園内の企画が少ない日であったが、他の日程と比較して著しく滞留時間が下がることなく、同程度の滞留時間であった。前回と比較して、建物内見学の充実や滞留アイテムを多く設置したことにより、同程度の滞在時間となったと推察される。

▼ 来場者の滞留時間（令和5年度11月社会実験との比較）



▼ 日ごとの来場者の滞留時間



●会場の設え・企画に関する評価

(お気に入りの滞留アイテム)

オープンガーデンには、様々な滞留ができるように様々な滞留アイテムを準備した。アンケート調査では、「ガーデンチェア」が156件と最も多く、次いで「ハンモック」77件、「ローチェア」58件、「ゴザ」52件であった。

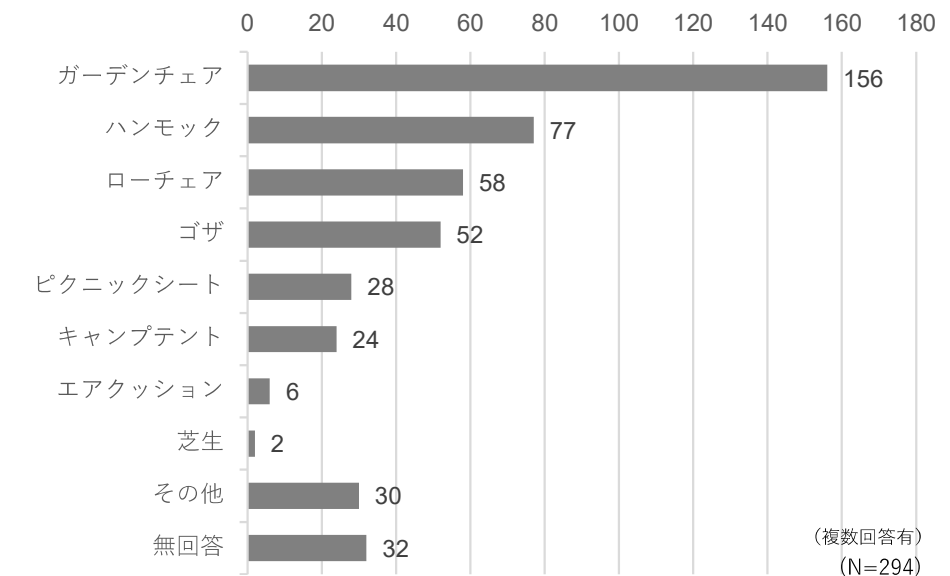


▲ガーデンチェア



▲ハンモック（芝エリア）

▼庭園内でのお気に入りの滞留アイテム（来場者対象アンケート調査）



※ハンモックについては、使用できない時間があった。



▲ハンモック（林エリア）



▲ローチェアとゴザ



▲ピクニックシート



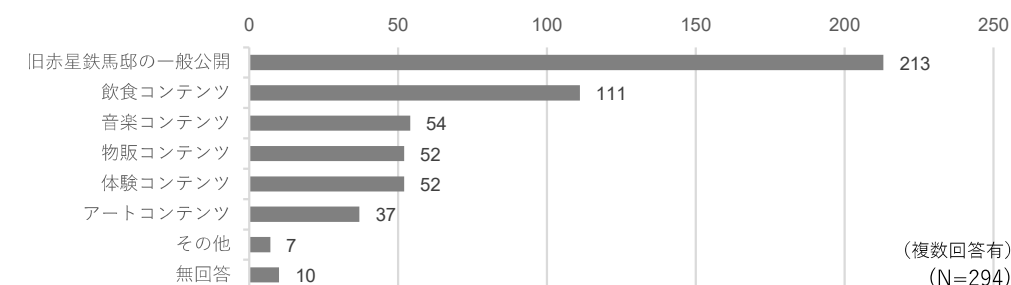
▲キャンプテント



▲エアクッション

(お気に入りのコンテンツ・プログラム)

オープンガーデンには、一般公開とともに、民間事業者や市民団体による企画を設け、どのようなコンテンツに注目や需要があるのかを確認した。アンケート調査では、「旧赤星鉄馬邸の一般公開」が213件と最も多く、次いで「飲食コンテンツ」111件、「音楽コンテンツ」54件であった。



▲お気に入りのコンテンツ・プログラム



▲旧赤星鉄馬邸の一般公開

■1週間で実施したコンテンツ・プログラムの様子（抜粋）



▲飲食コンテンツ



▲音楽コンテンツ



▲物販コンテンツ

▲体験コンテンツ



▲アート・展示コンテンツ

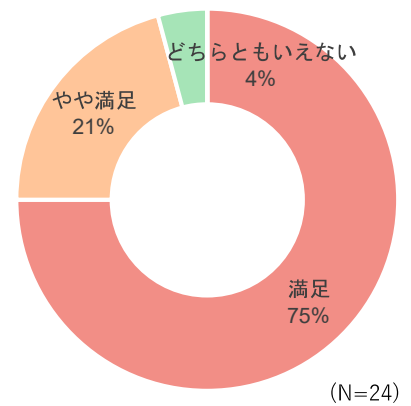
●企画者・出店者の印象

（オープングーデン全体満足度）

企画者・出店者のオープングーデンの満足度については、回答者の 96%が「満足」または「やや満足」と回答した。

出店に際して良かった点や継続すべき点としては、スタッフの対応、リハーサルの実施、備品の貸し出し等の「運営の対応」が17件中9件であった。次いで、「場所の特性」が5件、地域交流機会が5件であった。

一方で、出店に際して気になった点や課題と思う点としては、出店案内のわかりやすさ、主催者側の費用負担、事前打合せ実施等の「出店のしやすさ向上」が14件中7件であった。次いで、「イベント周知強化」が4件、「建物・庭園の配慮」が3件であった。



▲参加の満足度評価

▼出店に際して良かった点や継続すべき点、気になった点や課題と思う点

良かった点・継続すべき点

●運営の対応（スタッフの対応、リハーサル実施、備品の貸し出し等）9件

- ・手洗いやタンク等ご用意いただけた設備が最高だった。
- ・運営側の対応がよく問題なく営業ができたこと。
- ・リハーサルが出来たのは良かった。機材の運搬の協力もとても助かった。

●場所の特性（居心地のよさ、場所性）5件

- ・とてもよい場所だった。
- ・のんびりしていて落ち着いて1人1人とゆっくりお話しできた。エリアも気持ちよく、自身も楽しめる余裕があった。

●地域交流機会（交流機会の向上、地域発表の促進）5件

- ・庭だけでも有効活用して地元の子育て世代のサポート（教育・文化・芸術）を続けてほしいと感じた。
- ・「どんなことをやっているの？」と幅広い年齢層の方が興味を持ってきて、地域みなさんと豊かなコミュニケーションが取れたことが良かった。
- ・市民が自分の得意としていることや、ちょっとやってみたいと思うことをチャレンジできる場の提供としてよいことと思う。

●その他（持続性、出店のしやすさ、赤星邸の認知度向上、開催時期）7件

- ・開催の時期は、この時期がベストと感じた。
- ・旧赤星邸の認知度の向上が見られた。（当店のお客様、町田市や横浜市から来られた）
- ・テント前まで車を乗り入れできたのが大変助かった。
- ・貴重な場所でありながら自由度が高かった。
- ・営利企業の出店は施設の運営における経済性の面ではとても重要であるが、今回、非営利のグループでの販売サービスがあったのはよかったと思う。

気になった点・課題と思う点

●出店のしやすさ向上（出店者案内のわかりやすさ、主催者側の費用負担、事前打合せ実施等）7件

- ・オンライン打ち合わせでもよく、スタッフがどのような雰囲気なのか事前にわかるとより安心できるように感じた。
- ・物販ではないので売り上げもない中、費用について補助いただけなかったのが残念。（会議費くらい出してほしい。）
- ・ルールが増えてきて、ぱっと見メールの添付ファイルが読みづらかった。メールベースでなく web フォームベースの方が運用も楽しし応募もしやすく感じる。

●イベント周知強化 4件

- ・我々のような店舗を持つ出店者は（特に近隣であればあるほど）自店のお客さんへ告知することで来場者数を増やせるかと思うので、自店で告知できるよう事前にチラシを何枚かいただけるとよいと思った。
- ・告知が行き届いていないように感じた。（こちらでも告知をしていたが、直前でも殆ど知られていなかったため）

●建物・庭園の配慮 3件

- ・靴の脱ぎに対してフロアーが汚れている気がしている人がいたため、保存の観点からも掃除をしっかりとすべきである。
- ・庭をもう少しきれいに出来ればなお良い。

●ルール・仕組みの構築 2件

- ・出店者的には総合会計はとてありがたかったのですが、やはりお客さんはわかりづらそうだった。
- ・定期的にガーデンマルシェなどを企画し、持続することで運営予算を組めると思う。部屋をイベント貸しできれば良い。

●旧赤星鉄馬邸の本格運用に際して

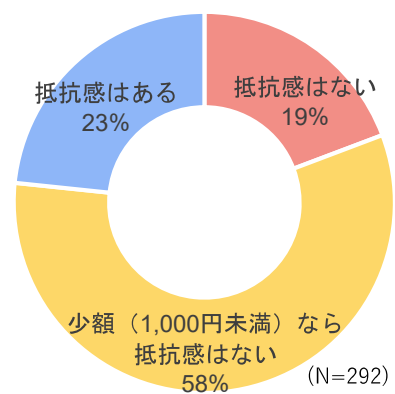
(本格運用する際の建物入場料の徴収の意向)

改修を行うことを前提とし、本格運用する際の建物入場料の徴収に関しては、「少額（1,000 円未満）なら抵抗感はない」が最も多く、58%であった。「抵抗感はない」の回答を含めると 77%が入場料を少額徴収した場合に抵抗感はないと回答している。

都内の建物文化財等を参考に確認すると、無料～500 円程度の徴収事例があった。

▼都内の建物文化財等の入館料等徴収料の抜粋（参考）

名前	自治体	入場料
旧朝倉家住宅	渋谷区	一般 100 円、小中学生 50 円、年間観覧料 500 円
朝倉彫塑館	台東区	一般 500 円、小・中・高校生 250 円
旧岩崎邸庭園	台東区	一般 400 円、65 歳以上 200 円
旧古河邸	北区	一般 400 円、小学生以下無料、ガイドツアー(入館料も含む) 800 円
旧公衆衛生院	港区	入館料無料、企画展有料(大人 300 円、小・中・高校生 100 円)
旧前田家本邸 洋館	目黒区	無料
旧浅香宮邸(庭園のみ)	港区	一般 200 円、大学生 160 円、中学・高校生・65 歳以上 100 円



▲建物入場料の徴収意向

(建物及び庭園の公開方法の意向)

本格運用する際の建物（旧赤星邸）の公開方法については、「特別公開（期間限定）」が 53%と最も多かった。一方で、庭園の公開方法については、「常時公開（日中。休園日あり）」が 64%と最も多かった。

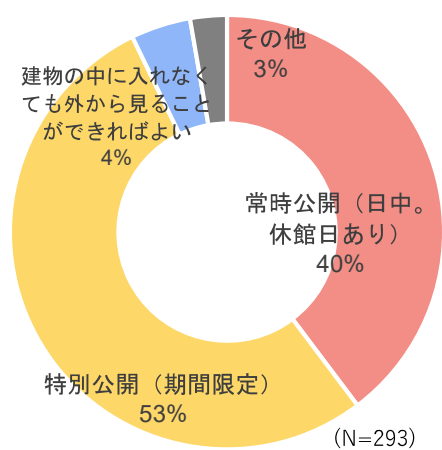
内訳をみると、建物・庭園ともに常時公開が 37%、建物・庭園ともに特別公開が 29%、建物特別公開で庭園常時公開が 22%の順で多い。

本格運用の際には、上記の 3 つの公開方法の意向を基に、維持管理や運営上の課題を考慮して、決定する必要がある。

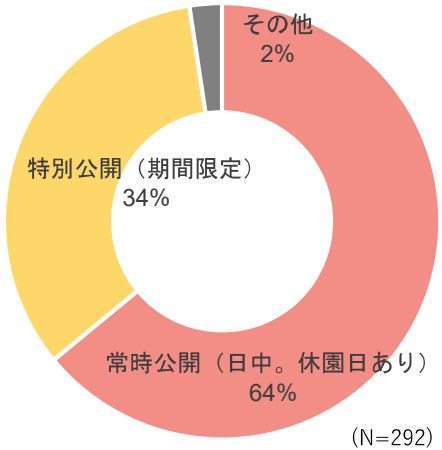
(建物及び庭園の活用方法の意向)

本格運用する際の建物（旧赤星邸）の活用方法については、「市民活動によるプログラム」が 151 件と最も多かった。

一方で、庭園の活用方法については、「普段は公開のみ・春または秋に事業者・団体によるプログラム」が 185 件と最も多かった。「広い庭のままであれば今回のようなイベントや施設は必要ない」は 44 件と比較的少数であった。



▲建物の公開方法の意向

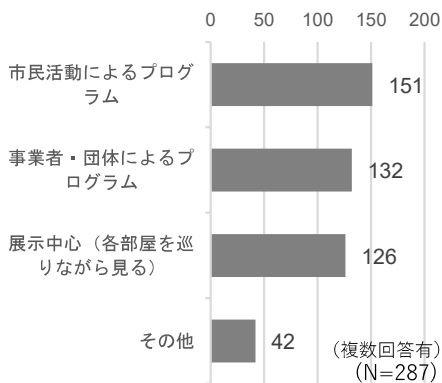


▲庭園の公開方法の意向

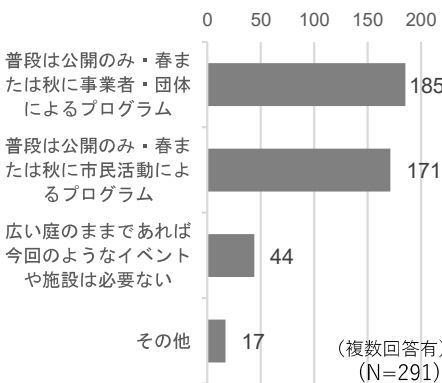
▼建物及び庭園の公開方法の内訳

		庭園公開方法		
		常時公開 (日中。休園日あり)	特別公開 (期間限定)	その他
建物公開方法	常時公開(日中。休館日あり)	37%	3%	0%
	特別公開(期間限定)	22%	29%	2%
	建物の中に入れなくても外から見ることであればよい	3%	1%	0%
	その他	2%	0%	1%

※端数処理の都合で、合計値が合わない場合ある。



▲建物の活用方法の意向



▲庭園の活用方法の意向

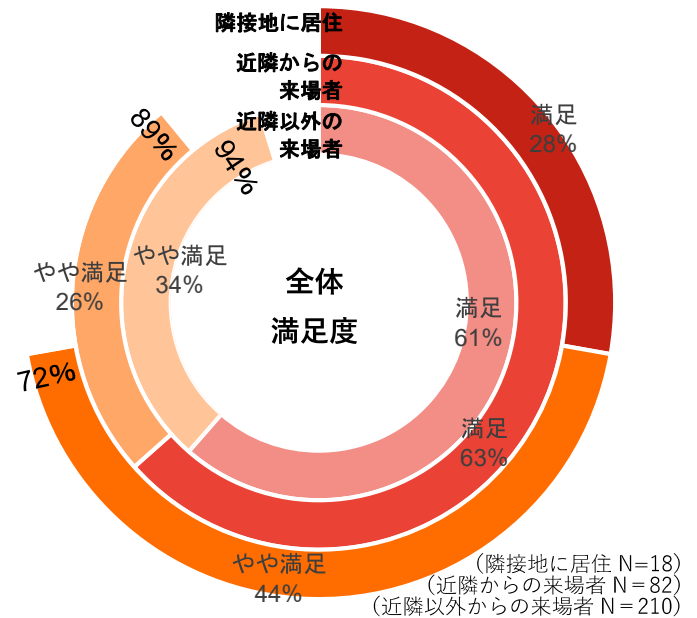
●周辺環境への印象・影響

オープンガーデン開催日に、会場や自宅にいた方を対象にオープンガーデンの印象調査※を実施した。

※旧赤星邸の隣接地に居住する近隣住民 129 世帯を対象にオープンガーデンの実施を受けて活動自体や印象についてアンケート調査を実施。（回収数 23 通（回収率 17.8%））

（近隣住民の全体満足度）

オープンガーデン全体の満足度について、居住属性を分類し解析した。旧赤星邸の隣接地に居住して来場された回答者の 72%が「満足」または「やや満足」と回答した。また、来場者アンケート内において、近隣から来場した回答者の 86%が「満足」または「やや満足」と回答した。一方で、近隣以外から来場した回答者の 94%が「満足」または「やや満足」と回答した。近隣からの来場者が 3 割程度を占めていることから、満足度の維持向上が必要である。



▲満足度評価（近隣・近隣以外の比較）

近隣住民を対象にしたアンケート調査により満足度評価の理由を確認した。

評価した理由としては、雰囲気の良い、リラックス・ちょうどよい人数、家族と楽しめた等の意見があった。一方で、課題とした理由としては、出店数の少なさ、来場者数の少なさ、事前準備、音楽の音量の大きさ等の意見があった。さらに、過大なイベントであるという指摘といえる意見もあった。

▼満足度評価の理由（近隣住民アンケート調査より解析）

〔評価した理由〕

- 雰囲気の良さ 3 件**（会場のムードもよい、楽しそうな雰囲気が伝わってきた、いつもあたたかい雰囲気で楽しんでいる）
- リラックス・ちょうどよい人数 3 件**（程良い出店量で混雑しすぎずリラックスして楽しめた、ちょうどよい人の数のように感じました。開放的でいろんな椅子があり思いおもいにくつろいで海外みたい）
- 家族と楽しめた 2 件**（犬も入れてよかった、小さい孫を連れて参加しイベントを一緒に楽しみました）
- その他 3 件**（良いことだと思う、企画には地元の方々が多く市民のイベントという印象だった、数回の活用実験をふまえオープンガーデン開催に至ったことは良かった）

〔課題とした理由〕

- 出店数の少なさ 3 件**（お店のセレクトがもう少し良くなるともっと足を運ぶ人が増えそう、もっと食べ物があるとよかった、もう少しテント数があっても良いと思った等）
- 来場者数の少なさ 2 件**（今回は来場する方が少なかったと思った、来場者は減少傾向ではないか）
- 事前準備 1 件**（商業的な出店が増え、もう少し告知が広まれば多くの人々が参加する可能性があるのではないかと。また、事前に庭の手入れをする場合はお知らせが欲しい。）
- 音楽の音量の大きさ 1 件**（初日のライブの音が少しうるさかったため音等イベントの際には注意していただけたらと思う。）

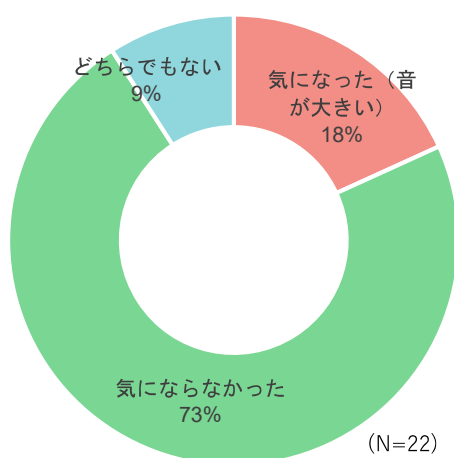
〔指摘した理由〕

- 過大なイベント 1 件**（不必要に手間とリソースがかけられている印象があった。庭と建物内の出店、コンサートなど必要か？まず、庭を整備していただいて居心地よい空間を作っていただけて簡素に開いていただければ良いと思う。）

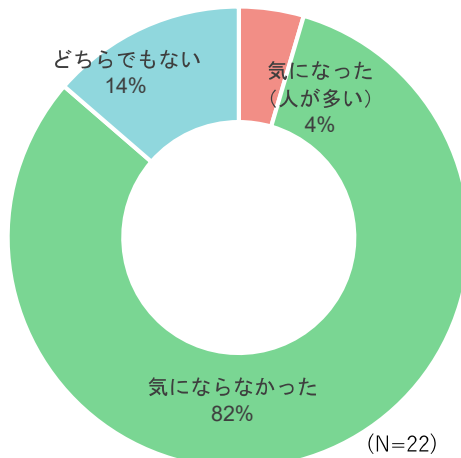
(近隣住宅・住民への影響)

オープンガーデン開催日に、会場や自宅にいた方を対象にオープンガーデンの印象調査を実施した。

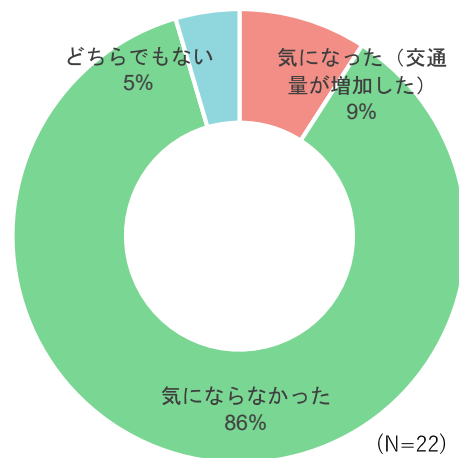
近隣住宅・住民への影響として、「音環境」「人の多さ」「交通量の増加」の印象を調査した。いずれも「気にならなかった」が最も多く、「音環境」が 73%、「人の多さ」が 82%、「交通量の増加」が 86%であった。一方で、「気になった」との回答もあるため、今後の利活用においては十分な配慮が必要である。



▲音環境の印象



▲人の多さの印象



▲交通量増加の印象

(夜間プログラムに関する近隣住民の感想)

オープンガーデンでは、夜間プログラムとして、24日・25日に音楽ライブ、26日・27日にプロジェクションマッピングの企画があった。当企画を受けて近隣アンケートにて、「夜間プログラムについて気づいたことや感想」を聴取した。

企画全体通して良かったとの意見が 4 件あった。一方で、企画の内容や音量に関する課題となる意見もあり、今後企画事業者と調整すべき事項として挙げておく必要がある。

夜間プログラムについて気づいた点や感想（近隣住民アンケート調査より解析）

[自由回答者数 7 件]

●良かったとの感想 4 件

- ・光が見えて（でも、嫌な感じではなく）音はかすかに聞こえて人がいるという感じがあって良かった。
- ・音楽などは上手な方が多くて特に気にならなかった。
- ・プロジェクションマッピングを孫と観た。楽しかった。昨年の映画とは趣が違うが、それぞれ良かった。
- ・幻想的で、楽しいプロジェクションだった。家族連れも多く、子供達も遊びながらも見ているようだった。ソフトクッションやベンチなども丁度良かったと思う。

●企画の内容に関する意見 1 件

- ・10月27日(日)プロジェクションマッピングへ行った。旧赤星邸にまつわる映像でもみれるのかと思ったが、クラブっぽい音楽とイラストで、何か思っていたのとちがうと思って 20 分位で帰った。蚊がいた。ナイトミュージアム、デイキャンプ（昼～19時）など出来たらたのしそう。プロジェクションマッピングをこんな近くでみることが出来た点はよかった。

●音量に関する意見 1 件

- ・音を立てるイベントは時期と時間を考えてほしい。（年末年始や受験期など）

●その他 1 件

- ・夜のプログラムが何をやっているのかわからなかった。ただ、庭を開放しているだけなのか。



▲音楽生演奏（24日・25日）



▲プロジェクションマッピング（26日・27日）

(音環境の平均・推移)

オープンガーデン時の音環境を確認し、近隣への影響度合いを把握した。計測地点は、①旧赤星邸屋上、②南側隣地付近、③西側隣地付近の3地点とし、10月中の平常時及びオープンガーデン時の7時～20時で計測した。

1日単位の平均値を見ると、26日、27日、30日で平常時と比べて3dB以上の増大傾向が見られた。一方で、28日は平常時と比べて低減した結果になった。環境基本法に規定される騒音に係る環境基準と比較評価すると、当調査における音レベルの平均値は、住居地域※の昼間の基準値（55dB以下）を下回る若しくはそれ相当の数値となった。

▼1日単位平均値でみた音環境

[dB]	オープンガーデン時（平均）							平常時（平均）
	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	
①屋上	48.0	48.0	51.2	50.6	46.4	50.1	50.6	47.3
②南側	46.3	46.8	48.1	48.5	45.5	47.2	49.8	45.7
③西側	46.2	45.9	47.6	47.9	44.3	47.9	50.4	45.6

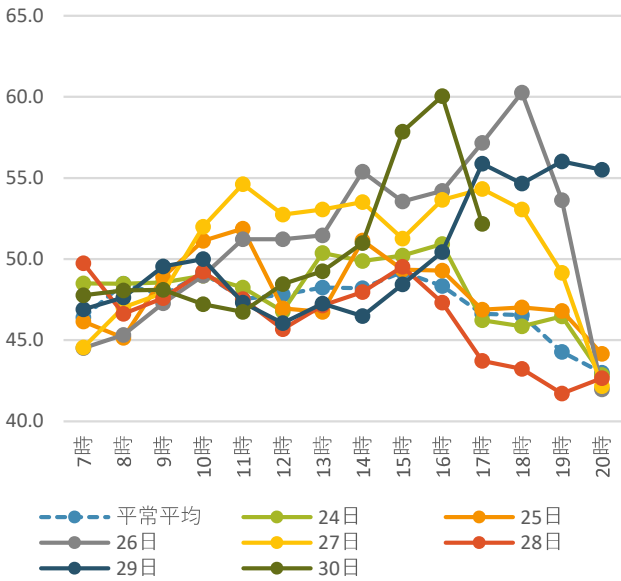
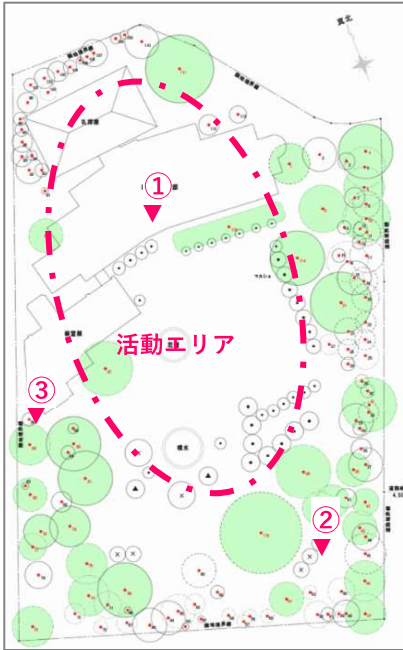
凡例
□：平常時より低減 □：平常時より1dB未満増大 □：平常時より1dB以上増大
□：平常時より2dB以上増大 □：平常時より3dB以上増大
※環境基本法に規定する環境基準における地域の類型A及びBを「住居地域」と定義した。

最も増大値が大きく出た①旧赤星邸屋上の調査器において、1時間単位の推移を確認すると、26日は14時頃と17時以降、27日は11時頃と17時以降、29日17時以降、30日15時以降で特に大きく増大していることが確認した。

録音器を確認すると、庭園でスピーカーを使用した音楽や読み聞かせの実施時（26日14時、27日11時）に最大55dB程まで上がった。さらに、プロジェクションマッピングの実施時（26日17時以降、27日17時以降）には、最大60dB程まで上がった。また、29日17時以降、30日15時以降については、雨音、風音が起因し、音量が増大した。

一方で、24日、25日、28日については、平常時相当の推移となった。庭園の滞留数を限定すれば、出店があったとしても平常時との音環境の乖離がないことが分かった。

▼調査機設置位置

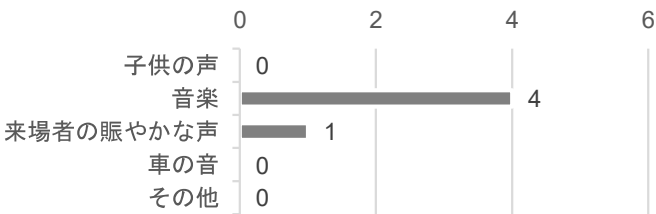


(音環境による近隣への影響)

「音環境の印象」のうち、「気になった（音が大きい）」と回答した方に具体的な音の内容について聞いた。4件の回答者のうち、4件が音楽、1件が来場者の賑やかな声と意見があった。

音楽の具体的な意見については、25日夜に開催した音楽企画に関する指摘があった。

▲1時間単位平均値でみた音環境（屋上観測器）



▲影響があった音環境の具体的な内容（近隣アンケート）

具体的な意見	● 10月25日(金)17:40頃～音楽と歌声。在宅勤務中でうるさかった。
	● 特にライブの演奏の際の音量が少し大きくて気になりました。(25日自宅にいたと回答)